

大阪信用金庫の環境への取組みについて

【サステナビリティ宣言】

地域金融機関として、地域の皆様が安定した繁栄を継続して享受できる社会になるように、大阪信用金庫職員が「自主創造」の精神で取り組み続けることを大阪信用金庫の「サステナビリティ」と定義します。

【環境方針】

<環境理念>

「だいしん行動綱領」で、当金庫は、高い公共性を有し、地域の中小企業と地域住民のための協同組織の金融機関として、①中小企業の健全な発展、②豊かな国民生活の実現、③地域社会繁栄への奉仕の三つのビジョンを使命としており、環境問題への取組みについては、資源の効率的な利用や廃棄物の削減を実践するとともに、環境保全に寄与する金融サービスを提供するなど、環境問題に積極的に取り組む方針である。

<環境保全への行動指針>

1. 次の事項についての環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。
 - ①電力およびガソリンの二酸化炭素排出量の削減
 - ②廃棄物削減の推進
 - ③水使用量の削減
 - ④環境に配慮した金融商品やサービスの提供
 - ⑤店舗周辺の美化による花咲かしんきん運動の展開
 - ⑥グリーン購入の推進
2. 環境関連法規制や当金庫が約束したことを遵守します。

【環境経営システム「エコアクション21」の導入】

当金庫は2010年10月20日に、環境省が定めた環境経営システムに関する第三者認証・登録制度「エコアクション21」の認証・登録を行い、環境保全活動に積極的に取り組んでいます。

電力やガソリンの削減による二酸化炭素排出量の削減をはじめ、一般廃棄物や水使用量の削減、環境に配慮した金融商品やサービスの提供、花咲かしんきん運動による緑化活動を行っています。



【花咲かしんきん運動】

２００６年度より全店舗で明るい店舗づくりと環境緑化を目的として「花咲かしんきん運動」を実施しています。店舗周辺に四季折々の花を植え、空きスペースをプランターで飾るなど常に明るい店舗、明るい窓口づくりを目指し、花を大切にする温かな気持ちで来店されるお客様をお迎えしています。

継続的な取組みにより、３０店舗が「アドプト・ロード」に認定されています。

また、ヒートアイランド対策として２００８年より毎年、店舗壁面に「ゴーヤによる緑のカーテン作り」を実施しています。



【桜の植樹活動】

当金庫近隣の５５校の小学校に桜の苗木を寄贈し植樹しました。



【大阪ひかりの森プロジェクトに参画】

当金庫は、大阪市此花区夢洲でメガソーラー発電を行う官民協働の企業参加型環境貢献事業「大阪ひかりの森プロジェクト」に参画しています。

本プロジェクトを通じて、地域の循環型社会の実現、環境教育の推進に貢献します。

【カーボンオフセット通帳・証書の採用】



当金庫は、地球温暖化防止への取組みの1つとして「カーボンオフセット」の仕組みを利用した通帳・証書を採用しています。

通帳・証書の作成工程で発生するCO₂（カーボン）を排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資することにより、相殺（オフセット）させています。



【環境に配慮した定期預金の発売】



当金庫は環境に配慮した預金商品として、2016年より毎年「笑顔咲くみどりの街定期預金」を発売し、募集金額の0.01%を大阪府が行う「みどりの風を感じる大都市・大阪」の実現を目指した取組み事業に寄付しています。



【「エコアクション21」取引先企業への普及活動】



環境省が定めた環境経営システムに関する第三者認証・登録制度「エコアクション21」を取引先企業へ普及するため、だいしんグリーン化プログラム「エコアクション21スクール」を2011年より実施し取得支援を行っています。



【フードドライブの取組み】



各営業店が社会福祉協議会等と連携し、各家庭で余った食品を持ち寄り、地域の福祉団体や施設、フードバンクに寄付する「フードドライブ」に取り組んでいます。営業店ロビーにボックスを設置し、職員や来店客から余っている食料品を集め、社会福祉協議会等を通じて子ども食堂などで活用されています。

